

兵庫県養成医かわら版

第 10 号

2023 年 6 月 27 日

発行：卒後ユニット

【 指導医に聞く 】神戸大学医学部附属病院 総合内科医

《 紹 介 》

名 前：合田 建

勤務先：神戸大学医学部附属病院 総合内科

経 歴：H26 年 神戸大学医学部卒

H26-H29 JA 長野厚生連 佐久医療センター・

佐久総合病院で研修

H29 年-R3 年 県立柏原病院（現 丹波医療センター）

R4- 現職

専 門：総合診療・家庭医療



《 勤務先の紹介 》

皆さん、卒後 10 年目の合田（ごうだ）です。私は愛知県名古屋市で生まれ、親（会社員）の転勤で小学校 2-4 年生を東京都渋谷区、5 年生から西宮市といわゆる「都会」で過ごしました。医師といえば近くにいた「かかりつけ医」のように「なんでも健康について相談のってくれる人」というイメージで、多様なコミュニティでも気軽に健康問題について質問され、答えられるようになりたいと思い、医学部を志望し、神戸大学へ入学しました。実は AO 入試で落ちて一般入試で合格しました。（養成医ではありません）

学生時代は総合診療や地域医療などはあまり意識せず、周りの同級生と同じように勉強、部活動（フットサル・ウィンドサーフィン・全学の古寺探訪サークルなどなど）、アルバイト（家庭教師やカフェ店員など）、海外旅行などに時間とお金を費やしました。

部活の先輩のツテで長野県にある佐久総合病院の外来研修を見学して、初期研修 1 年目から主体的に外来診療をこなし、さらに 2 年目、後期研修医、スタッフと屋根瓦式の教育体制を目の当たりにして、ここで研修したいと考え、佐久総合病院で初期研修を行いました。

《初期研修～現在に至るまで》

同期は 15 人、全国各所から様々な年代、経歴を持った人が集まり、多様な価値観に触れることが出来ました。ちょうど、病院が分割再構築（佐久医療センター（高次医療機関）と佐久病院本院へ分割）の年でしたが、その分、高度最先端医療と地域密着型医療の「二足のわらじ」を実感することが出来ました。

様々な科をローテートしていく中で、どの診療科も「疾患（Disease）」だけでなく、「病

キャリア形成卒後支援ユニット

postgrad@med.kobe-u.ac.jp

〒650-0017 神戸市中央区楠町 7-5-1 TEL 078-382-6596 FAX 078-382-6597（神戸大学総合内科医局内）

い体験 (Illness)」も考えて診療していることが感じられ、とても居心地がよかったです。

「医療はすべからく地域医療であるべきで、地域を抜きにした医療はありえない」という言葉をご存じでしょうか。これは佐久総合病院の若月俊一の言葉です。佐久ではスタッフが「5-3-2 ルール」（自分の持っている力を 10 として 5 は病棟、3 は外来、2 は地域活動に分配する）を意識しながら働いており、心臓血管外科のベテランの医師でさえも年に 1 回、佐久の外れまで健康診断の健診医を担ったり、病院祭へ積極的に参加したりとどのスタッフも地域医療を意識していることを感じました。

子供の誕生というライフイベントもあり、柏原病院で勤務することにしました。ここは、私が学生時代に総合診療科の教授だった秋田穂束先生が病院長で、「兵庫県の佐久病院にしたい」と話されていたこともあり、何か力になれるかもと思い、プログラム移籍しました。「内科はひとつ」をモットーに、幅広く、深く診療することが出来ました。プログラム責任者の見坂先生から積極的に学術活動の機会も与えてもらいました。

また、日本プライマリ・ケア連合学会の学会活動に関わることで、同じ志を持ったコミュニティにも触れ続けることが出来ました。現在は専門医部会のキャリア支援部門や若手医師部門 病院総合医チーム、また病院総合診療医学会との合同広報チーム「Genelink」の一員として活動しています。

柏原病院は丹波医療センター・ミルネ診療所と新しい医療機関となり、急性期から緩和ケア・在宅医療まで幅広く学べる、地域医療・総合診療を学ぶ絶好の場所となりました。実際に総合診療プログラム在籍数は近畿圏随一です。

私自身は子供 3 人に恵まれ、明石に家建てたこともあり、今年度から神戸大学の総合内科で勤務しています。普段は病院での診療や学生・研修医教育をしつつ、アルバイトで訪問診療や総合診療医育成、など佐久での「5-3-2 ルール」を意識しながら診療しています。

《地域医療の魅力》

「医療はすべからく地域医療であるべきで、地域を抜きにした医療はありえない」という言葉通り、総合診療を目指す人だけでなく、どの診療科に進む医師でも「地域医療」を理解し、実践してほしいと考えております。逆に「地域医療」を理解することで、将来どの地域でも活躍できると考えています。

私は養成医ではありませんが、国や地域のニーズは総合診療・地域医療に迫り風だと感じています。養成医の皆様には、是非、どの診療科に進んだとしても、地域の「ニーズ」を感じながら「地域医療」を実践し、さらにリーダーシップを発揮してほしいと思います。

キャリア形成卒後支援ユニット

postgrad@med.kobe-u.ac.jp

〒650-0017 神戸市中央区楠町 7-5-1 TEL 078-382-6596 FAX 078-382-6597 (神戸大学総合内科医局内)

今年度から神戸大学総合内科で勤務しています。大学病院の総合内科でも今まで学んだ総合診療や家庭医療の理論が十分に活かせることを実感しています。皆さんの個別のキャリア相談をいつでも受け付けておりますので、是非気軽に声をかけていただき、一緒に未来の地域医療について語り合しましょう！



『かわら版』を書いてみませんか？病院宣伝でも、〇〇自慢でも、地域医療に掛ける思いでも何でも結構です。原稿はどなたからでもいつでも受け付けています

キャリア形成卒後支援ユニット

postgrad@med.kobe-u.ac.jp

〒650-0017 神戸市中央区楠町 7-5-1 TEL 078-382-6596 FAX 078-382-6597(神戸大学総合内科医局内)